

令和4年度 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 申請様式集

1. 登録基準確認用紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
2. 基礎情報書類（クラブ概要等）・・・・・・・・・・	P 3
3. 規約・会則・定款等（各クラブにてご準備ください）	
4. 役員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6
5. 当該年度事業計画・予算（各クラブにてご準備ください）	
6. 前年度事業報告・決算（各クラブにてご準備ください）	
7. 評価指標を用いたクラブの自己点検・評価の結果・・・・・・・・・・	P 7
8. 申請書類⑤・⑥を議決した際の議事録（各クラブにてご準備ください）	
9. スポーツガバナンス自己説明・公表確認書（各クラブにてご準備ください）	

令和4(2022)年度
総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録基準確認用紙

公益財団法人沖縄県スポーツ協会
総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
委員長 平 良 朝 治 殿

クラブ名: _____

代表者名: _____

本クラブは、公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会に登録申請いたします。

[凡例]

全国協議会: 総合型地域スポーツクラブ全国協議会
都道府県協議会: 都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

いずれかに○印

1. 新規登録
2. 更新登録

1. 基準適合状況

全国協議会が定める基本基準		全国協議会及び都道府県協議会が定める 必ず満たすべき運用ルール	左記を 満たす 場合○印
分類	個別基準		
(1) 活動実態に関する基準	①多種目(複数種目)のスポーツ活動を実施している。	・定期的 ^{※1} なスポーツ活動を2種目以上実施している。	
	②多世代(複数世代)を対象としている。	・次の世代のうちいずれか2区分以上の会員 ^{※2} がいる。 A) 未就学児 B) 小学生 C) 中学生 D) 高校生(～18歳) E) ～29歳 F) ～39歳 G) ～49歳 H) ～59歳 I) ～69歳 J) 70歳～	
	③適切なスポーツ指導者を配置している。	・クラブマネージャー又は事務局員の少なくとも1名は、日本スポーツ協会公認クラブマネージャー又はアシスタントマネージャー資格を有している。 ^{※3} ・定期的なスポーツ活動において、日本スポーツ協会が公認スポーツ指導者(以下「公認スポーツ指導者」という。)を養成している競技・種目については、当該競技の公認スポーツ指導者資格を有するスポーツ指導者が少なくとも1名は配置されている。 ^{※3}	
	④安全管理体制を整備している。	・緊急連絡体制を整備している。 ^{※4}	
(2) 運営形態に関する基準	⑤地域住民が主体的に運営している。	・規約等 ^{※5} ・事業計画・予算、事業報告・決算を議決する意思決定機関の議決権を有する者の過半数が総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」という。)の所在する市町村 ^{※6} の住民である。(又は当該市町村の住民と隣接する市町村の住民を合算すると過半数である。) ・非営利組織である。 ^{※7}	
(3) ガバナンスに関する基準	⑥規約等が意思決定機関の議決により整備され、当該規約等に基づいて運営している。	・規約等 ^{※5} の改廃に必要な議決について当該規約等に定めている。	
	⑦事業計画・予算、事業報告・決算が、意思決定機関で議決されている。	・事業計画・予算、事業報告・決算を議決した意思決定機関の議事録(出席者が明記されているもの)が提出されている。	

- ※1: 定期的とは、年間で12回以上実施することを示す。
- ※2: 会員とは、年会費等、年間で会費を支払っている会員を示す(月会費や教室・イベントごとの参加費等は含まない)。ただし、この基準を満たす総合型クラブは限られてしまう可能性もあることから、移行措置として当面の間は申請した総合型クラブが会員として扱っている者を会員としてみなす。
- ※3: 当面の間は移行措置として、本基準が満たされないことを理由に、登録を不可とすることはしない。
- ※4: 不測の事態に備え、あらかじめ医療機関や参加者の家族、その他必要となる機関・団体等や総合型クラブ内関係者の緊急時に関する連絡体制を整えていることを指す。
- ※5: 規約・会則・定款等を指す。
- ※6: 特別区は市町村に準ずる。
- ※7: 営利法人である「株式会社」「合同会社」「合資会社」「合名会社」等は対象外。

2. 添付申請書類

申請書類名	添付に ○印	備考
申請書類①.登録基準確認用紙(本用紙)		
申請書類②.基礎情報書類(総合型クラブ概要等)		データ提出必須
申請書類③.規約・会則・定款等		新規登録時は提出必須(更新登録時は、変更があった場合のみ提出)
申請書類④.役員名簿		新規登録時は提出必須(更新登録時は、変更があった場合のみ提出)
申請書類⑤.総合型クラブ内で承認を得た当該年度事業計画・予算		
申請書類⑥.総合型クラブ内で承認を得た前年度事業報告・決算		申請年度に創設した総合型クラブは提出不要
申請書類⑦.総合型クラブの評価指標を用いた自クラブの自己点検・評価の結果		データ提出必須
申請書類⑧.申請書類⑤及び⑥を議決した際の議事録		申請年度に創設した総合型クラブは⑥を議決した際の議事録は提出不要
申請書類⑨.スポーツガバナンスウェブサイトを用いた自己説明・公表確認書		
申請書類⑩.都道府県協議会が定める運用ルール及び都道府県協議会独自基準を確認する際に必要となる提出物		

3. 連絡先情報

フリガナ		クラブでの役職	
担当者氏名			
TEL		E-mail	

【個人情報の取り扱いについて】

公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の登録手続により取得した個人情報の取り扱いは、別に定める「公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ登録認証制度登録クラブ個人情報の取り扱いについて」に基づくものとします。

令和4(2022)年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録申請用紙 《基礎情報書類》

フリガナ		設立年 ※西暦記入	設立年数 ※自動入力	
クラブ名			2022	年目

1. 事務局情報

事務局 情報	住所	〒				
		都道府県名		市区町村名	番地	建物名
	E-mail					
	TEL				事務担当者 氏名	
	FAX				役職	

※以下の情報は、登録前年度の3月31日時点の内容を記入ください。

2. 会員について

(1) 総会員数※1とその内訳を記入ください。

※1 本設間における会員とは、クラブが定める会員のことを指します。

区分	A 未就学児	B 小学生	C 中学生	D 高校生 (~18歳)	E ~29歳	F ~39歳	G ~49歳	H ~59歳	I ~69歳	J 70歳~	合 計
男性											
女性											
不明											
小計											

↑ 総会員数

(2) 年会費等を支払っている会員数※2とその内訳を記入ください。

※2 本設間における会員とは、年会費等、年間で会費を支払っている会員を指します(ここでは、月会費や教室・イベントごとの参加費等のみ支払っている方は会員とみなしません)。

区分	A 未就学児	B 小学生	C 中学生	D 高校生 (~18歳)	E ~29歳	F ~39歳	G ~49歳	H ~59歳	I ~69歳	J 70歳~	合 計
男性											
女性											
不明											
小計											

3. 定期的に行うスポーツ活動種目・指導者資格保有者について

- (1) 定期的に(年間で12回以上)行うスポーツ活動種目のみについて、以下の表の種目名の定期活動欄に○を記入ください。なお、○を記入した種目名において、当該種目の指導者に日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を有する者が1名でも配置されている場合は指導者配置欄に○を記入ください。

種目名	定期活動	指導者配置	種目名	定期活動	指導者配置
1 アーチェリー			51 テニス		
2 アイスホッケー			52 ドッジボール		
3 アメリカンフットボール			53 トライアスロン		
4 インディアカ			54 トランポリン		
5 ウェイトリフティング			55 なぎなた		
6 ウォーキング			56 軟式野球		
7 エアロビック			57 バイアスロン		
8 オリエンテーリング			58 バウンドテニス		
9 親子リトミック			59 馬術		
10 カーリング			60 バスケットボール		
11 カヌー			61 バドミントン		
12 空手道			62 バレーボール		
13 弓道			63 パワーリフティング		
14 近代五種			64 ハンドボール		
15 キンボール			65 パークゴルフ		
16 グラウンド・ゴルフ			66 ビーチバレー		
17 クレー射撃			67 フィットネストレーニング		
18 ゲートボール			68 フェンシング		
19 健康体操			69 武術太極拳		
20 剣道			70 フットサル		
21 ゴルフ			71 フライングディスク		
22 サッカー			72 フラダンス		
23 山岳			73 プロゴルフ		
24 自転車競技			74 プロスキー		
25 銃剣道			75 プロテニス		
26 柔道			76 ペタンク・ブール		
27 少林寺拳法			77 ボウリング		
28 新体操			78 ボート		
29 水泳(競泳・飛込・水球等)			79 ボクシング		
30 スキー・スノーボード			80 ホッケー		
31 スクーバ・ダイビング			81 ホプスレー・リュージュ・スkeleton		
32 スケート			82 野球		
33 スポーツクライミング			83 ヨガ		
34 スポーツチャンバラ			84 ライフル射撃		
35 スポーツ吹矢			85 ラグビーフットボール		
36 相撲			86 ランニング(ジョギング)		
37 セーリング			87 陸上競技		
38 ソフトテニス			88 レスリング		
39 ソフトバレーボール			89 ローラースポーツ		
40 ソフトボール			90 3B体操		
41 太極拳			91 その他()		
42 体操(一般体操)			92 その他()		
43 体操競技			93 その他()		
44 卓球			94 その他()		
45 ターゲット・バードゴルフ			95 その他()		
46 ダンス			96 その他()		
47 ダンススポーツ			97 その他()		
48 チアダンス			98 その他()		
49 チアリーディング			99 その他()		
50 綱引			100 その他()		

- (2) 上記(1)で回答したスポーツ活動種目の合計数と、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者配置種目の合計数を以下に記入ください。

①スポーツ活動種目数 種目

②公認スポーツ指導者配置数 種目

4. クラブマネジャー・事務局員の配置状況及び公認マネジメント資格保有者

- (1) クラブマネジャー※3の配置の有無を記入ください。

※3 クラブマネジャーとは、経営能力を有する専門的な人材とする。

配置	どちらかに○
有	<input type="text"/>
無	<input type="text"/>

- (2) クラブマネジャー及び事務局員の内、日本スポーツ協会公認マネジメント資格保有人数をそれぞれ記入ください。※4

※4 クラブマネジャーが事務局員を兼務している場合は、クラブマネジャーに記入ください。

①クラブマネジャー

公認クラブマネジャー資格保有者数 人

公認アシスタントマネジャー資格保有者数 人

②事務局員

公認クラブマネジャー資格保有者数 人

公認アシスタントマネジャー資格保有者数 人

備考

令和4(2022)年度 総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録申請用紙《役員名簿》

貴クラブの規約等(規約・会則・定款等を指す)、事業計画・予算、事業報告・決算を議決する意思決定機関において、議決権を有する関係者全員の情報を入力してください。

なお、登録基準※では、議決権を有する者の過半数が所在する市町村の住民である(又は当該市町村の住民と当該市町村に近隣の市町村の住民を合算すると過半数である)ことが必要です。

■クラブ名: _____

令和4年4月1日現在

No.	役職	氏名	居住地
例	理事長	東京 太郎	東京都●●区 ※市区町村名まで入力
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

【個人情報の取り扱いについて】

公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の登録手続により取得した個人情報の扱いは、別に定める「公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度登録クラブ個人情報の取り扱いについて」に基づくものとします。

※総合型地域スポーツクラブ登録基準細則第3条基本基準分類「(2)運営形態に関する基準」の「個別基準⑤地域住民が主体的に運営している」

自己点検・評価 実施マニュアル

- 1 シートAに貴クラブのプロフィールを入力してください。
- 2 シートBにより貴クラブの現状が各項目の4段階のどこにあるかを確認し、シート右側の評価欄に点数を入力ください(下記「評価指標の見方」参照)。
- 3 自動的に、シートCにレーダーチャートが作成されます。

レーダーチャートに示される7つの項目がバランスよくクリアされることが理想ですが、地域の資源や特性等によりクラブの状況も違いますので、値の大小が必ずしも貴クラブの現状の良し悪しを決定するものではないことにご留意ください。

- 4 提出(回答)方法
 - (1) 提出物 シートA、B、Cを印刷し提出
(Excelファイルデータもメール等で併せて提出してください)
 - (2) 提出先 市町村所管課
 - (3) 提出期限 都道府県協議会が設定する日時まで

【評価指標の見方】 点検・評価に当たり、各段階は、前の段階を満たした上で、当該段階の内容を満たしていること。例えば、「充実段階」では、「基盤段階」「発展段階」の各内容を満たした上で、「充実段階」の内容を満たしているかについて点検・評価する。なお、各段階の内容は次のとおり。

【各段階】

基 盤	総合型クラブの創設・自立に向けて、活動基盤を整備している段階
↓	
発 展	一定の活動基盤を整備し、充実した活動を行うための体制整備に向けた発展段階
↓	
充 実	一定の充実した体制を整え、さらなる持続可能な体制整備を行っている段階
↓	
持 続 可 能	指針に示した内容を満たし、持続可能な体制を十分整備している段階

【数値化】

1
1.5
2
2.5
3
3.5
4

■この指針と評価指標について

日本スポーツ協会が、平成26年度に文部科学省委託事業として策定したものです。

【指針】

総合型クラブが継続的・安定的に活動するために必要な要因・条件を明らかにしたもの。

【評価指標】

定期的な自己点検・評価により、適切な現状把握を行うとともに、次へのステップ

■指針と評価指標を用いて自己点検・評価を行うと

- ・指針の到達に向けた貴クラブの現在地が把握できます。
- ・自己点検の結果を踏まえ、貴クラブの事業計画や運営の見直しを行う際の参考になります。

ご回答いただきありがとうございます。

あなたのクラブのプロフィールについて

市区町村名 : _____

市区町村人口 : _____

クラブ名 : _____

以下の項目のうち、8と9以外は、スポーツ庁が例年実施している「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」の内容と概ね同じです。

項目	説明	回答欄		
1. 会員	現在の総会員数	名		
2. 会費	徴収している場合は「1」 徴収していない場合は「2」を選択してください。			
	『徴収している』を選択されたクラブは、 1人当たりの平均月額を入力ください。	円／月		
<p>【算出の仕方(参考)】</p> <p>原則として下記のとおりとしますが、クラブの実情に応じて算出いただいて構いません。</p> <p>○大人、子どもなどに分かれている場合は、その1人当たりの平均額とする。</p> <p>○保険料は含まない。</p> <p>○ファミリー会費など割引設定の会費は除く。</p> <p>○年会費の場合は、月当たりの額に換算する。</p> <p>(例)</p> <p>①大人(1,000円/月)、高校生(500円/月)、小・中学生(300円/月)の場合 $(1,000円 + 500円 + 300円) \div 3(種類) = 600円$</p> <p>②年会費3,000円・保険料1,500円の場合 *保険料は含まずに算出。 $3,000円 \div 12(ヶ月) = 250円$</p> <p>③種目により額や徴収の対象期間が異なる。(水泳=3,000円/6ヶ月、ヨガ1,000円/月)の場合 *各種目の月平均額を算出 $3,000円 \div 6(ヶ月) = 500円$</p>				
3. 法人格取得	取得している場合は「1」 取得していない場合は「2」を入力ください。			
4. 活動内容	定期活動種目におけるスポーツ・レクリエーション活動種目 (身体活動を伴う種目)数を入力ください。	種目		
	文化活動種目数を入力ください。	種目		
5. クラブマネジャーの配置	常勤で配置 (週4日以上)	手当有り	人	
		手当無し	人	
	※配置されている場合は、該当 する人数や額を入力ください。	非常勤で配置	手当有り	人
			手当無し	人

6. 事務局員(クラブマネジャーを除く)の配置 ※配置されている場合は、該当する人数や額を入力ください	常勤で配置 (週4日以上)	手当有り		人
		手当無し		人
	非常勤で配置	手当有り		人
		手当無し		人
7. 令和4年度の予算 ※クラブの年間予算をご教示ください。	あなたのクラブの年間予算は概ねいくらですか？ 「1」 1～1,000,000円 「2」 1,000,001～2,000,000円 「3」 2,000,001～3,000,000円 「4」 3,000,001～4,000,000円 「5」 4,000,001～5,000,000円 「6」 5,000,001～6,000,000円 「7」 6,000,001～7,000,000円 「8」 7,000,001～8,000,000円 「9」 8,000,001～9,000,000円 「10」 9,000,001～10,000,000円 「11」 10,000,001円～			
8. 事業計画への反映	あなたのクラブでは、今回の自己点検・評価の結果を活用し、事業計画の見直しに反映させる意向はありますか？ ある場合は「1」 ない場合は「2」を入力ください。			
9. スポーツ振興くじ(toto・BIG)助成金の受領	あなたのクラブでは、スポーツ振興くじ(toto・BIG)助成金を受領していますか？ 過去受領していた場合は「1」 現在受領している場合は「2」 過去・現在とも受領していない場合は「3」を入力ください。			
10. クラブの設立年数	あなたのクラブは、令和4年4月1日時点で設立満何年でしょうか？			年

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標

指針				評価指標						評価 (左記数値を参考に、0～4を入力)	平均
				数値 項目	1	2	3	4			
					基盤	発展	充実	持続可能			
					総合型クラブの創設・自立に向けて、活動基盤を整備している段階	一定の活動基盤を整備し、充実した活動を行うための体制整備に向けた発展段階	一定の充実した体制を整え、さらなる持続可能な体制整備を行っている段階	指針に示した内容を満たし、持続可能な体制を十分整備している段階			
諸資源の獲得	①活動基盤の整備	事務局体制の整備	○ クラブの運営が円滑にかつ効率的に行われるため、組織運営に関する豊富な知識を有したクラブマネジメント資格を保持する「クラブマネージャー」が配置されていること。	CM※1 及び事務局員の配置体制	いずれかを配置している	それぞれ1名を配置している	いずれかを複数名配置している	それぞれを複数名配置している	0.0 点	0.0 点	
			○ 組織の充実・発展に伴い、専従事務局員の有償配置を含めた複数名による事務局体制が確保されていること。	CM 及び事務局員の配置条件※2	いずれか1名を有償で配置している	それぞれの1 名を有償で配置している	それぞれの複数名を有償で配置し、うちどちらか1 名が週4日以上専従している	有償で配置している財源を自己財源 ※3 で確保している	0.0 点		
				公認マネジメント資格※4 の取得(クラブマネージャー)	公認アシスタントマネージャー資格の登録者がいる	公認アシスタントマネージャー資格の登録者が複数いる	公認クラブマネージャー資格の登録者がいる	公認クラブマネージャー資格の登録者が複数いる	0.0 点		
		指導者の確保	○ 安全かつ正しく、楽しくスポーツ活動を行うため、一定の知識と技能を有した公認資格を保有する指導者が確保されていること。	公認資格※ 5を有するスポーツ指導者の確保	事業の半数未満で、公認資格を有する指導者を配置している	半数以上の事業で、公認資格を有する指導者を配置している	全ての事業で、公認資格を有する指導者を配置している	全ての事業で、指導を行う者は全員公認資格を有している	0.0 点		
				指導者研修会の実施	クラブ内での研修会開催について計画している	クラブ内での研修会が不定期に開催されている	クラブ内での研修会が年に複数回開催されている	クラブ外の指導者研修会等へ年に1 回程度、指導者を派遣している	0.0 点		
		受益者負担の理解	○ 受益者負担に関する理解が会員に共有され、助成金、補助金等に頼らず、会費、参加費をはじめとする事業収入、寄付金等により、十分な活動資金が確保されていること。	受益者負担の理解(財務的自立)	自己財源が総収入の25%未満である	自己財源が総収入の25%以上、50%未満である	自己財源が総収入の50%以上である	自己財源により(総収入の75%以上)、安定したクラブの活動が展開できている	0.0 点		
			○ 助成金、補助金等は、自助努力だけで確保できるものではなく、また一定の期限や用途などが設定されていることから、これらの財務的資源のみに頼らずクラブの活動が継続できること。								
		活動拠点の確保 ※6	○ クラブの活動を行う上で必要不可欠な施設を安定的に確保するため、学校施設又は公共スポーツ施設の指定管理者制度の活用又は管理委託等により利用できること。	※右記いずれ保れずかの施設を確保	学校体育施設の利用	当初の年間利用計画のうち50%未満の確保状況である	当初の年間利用計画のうち50%以上確保できる	当初の年間利用の計画のうち80%程度確保できる	施設の管理委託を受け、安定的に利用するとともに、地域の各クラブ・団体等間の利用調整も行っている		0.0 点
			公共スポーツ施設の利用		当初の年間利用計画のうち50%未満の確保状況である	当初の年間利用計画のうち50%以上確保できる	当初の年間利用の計画のうち80%程度確保できる	施設の指定管理者となって安定的に利用するとともに、地域住民及び地域の各クラブ・団体等間の利用調整も行っている			
			上記以外の施設の利用		当初の年間利用計画のうち50%未満の確保状況である	当初の年間利用計画のうち50%以上確保できる	当初の年間利用計画のうち、80%程度確保できる	継続的・安定的に利用できる			
			事務局スペース(クラブハウス機能)の確保		事務作業ができる公的なスペース※7 を確保している	必要な機材(電話・FAX・PCメール等)が揃っている	少人数で打合せを行う程度のスペースを備えている	会議専用の一室を備えている	0.0 点		
				サロンスペース(クラブハウス機能)の確保	サロンスペースの確保に向けた行動を計画している	少人数の会員が集える程度のスペースがある	会員が自由に交流・談話できるスペースを確保している	地域の誰もが自由に交流・談話できるスペースを確保している	0.0 点		

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標

指針				評価指標						評価 (左記数 値を参考 に、0～4 を入力)	平均					
				数値	1				2			3		4		
				項目	基盤		発展		充実			持続可能				
					総合型クラブの創設・自立に向けて、活動基盤を整備している段階		一定の活動基盤を整備し、充実した活動を行うための体制整備に向けた発展段階		一定の充実した体制を整え、さらなる持続可能な体制整備を行っている段階		指針に示した内容を満たし、持続可能な体制を十分整備している段階					
諸資源の獲得	②連携体制の確立	市区町村との連携	○ クラブの活動の場や機会を拡充させ、地域における存在意義を高めるため、行政と緊密に連携していること。 ○ 行政と総合型クラブとの対等なパートナーシップを構築し、社会的な信頼及び期待を高めるための好循環が創出されていること。		市区町村との連携	運営委員会のメンバーとして行政担当者又はスポーツ推進委員が参画している		活動場所の提供や地域住民への啓発等、一定の行政支援を受けている		行政主催のイベント事業や健康づくり事業などを連携・協力して実施している		スポーツに関する有識者の立場で、行政が行う会議等のメンバーとして行政運営に参画している		0.0 点	0.0 点	
		学校との連携	○ 学校体育活動をはじめとする各種の教育的活動の一部を補完することにより、クラブの活動の場や機会を拡充し存在意義が高められていること。 ○ 学校との連携により、児童生徒や保護者に対する認知度を向上させるとともに、公益性を高め、地域からの信頼が得られていること。		学校との連携	学校行事(イベント)等に不定期に協力している		学校行事(イベント)等に年に複数回協力している		総合的な学習の時間、体育授業、部活動等に協力している		学校と相互に連携し、学校及び地域の課題解決に向けた共同事業を実施している		0.0 点		
		地域自治組織との連携	○ 地域コミュニティの活性化や地域の自治を目的とする自治会、町内会などの組織は、クラブの活動趣旨・目的と共通点が多い、これらの組織と連携し、クラブの活動の場や機会を拡充させ、地域住民の認知度を向上させるとともに、地域からの信頼が高められていること。		地域自治組織との連携	地域自治組織が行う行事等の協力に向けた協議を行っている		地域自治組織が行う行事等に不定期に協力している		地域自治組織が行う行事の計画に参画し定期的に協力している		各種地域自治組織と相互に連携し、地域の課題解決に向けた共同事業を実施している		0.0 点		
		地域スポーツ団体との連携	○ スポーツ少年団や単一種目の地域スポーツクラブなどの地域のスポーツ団体は、総合型クラブの活動趣旨・目的と共通点が多い。これらの団体と連携し、クラブの活動の多様性を一層図るとともに、地域のスポーツ環境を豊かにすることにより、地域からの信頼が得られていること。		地域スポーツ団体との連携	スポーツ少年団	連携に向けた協議を行っている		地域イベント等を共催で実施している		定期的事業において、指導者派遣等の連携を行っている		スポーツ少年団と一体的なクラブの活動(統合化・サークル化)を行っている			0.0 点
		単一種目クラブ・団体等	連携に向けた協議を行っている			地域イベント等で連携している		地域イベントや指導者派遣等で連携している		単一種目クラブ・団体等と一体的なクラブの活動(統合化・サークル化)を行っている		0.0 点				
		地区体育協会(振興会)等	連携に向けた協議を行っている			地域イベント等で不定期に連携している		地域イベント等で定期的に連携している		定期的な連携に加え、当該地区のスポーツ推進計画の策定に参画している		0.0 点				
		他の総合型クラブ等	連携に向けた協議を行い、各種情報の交換等を行っている			交流イベント等を実施している		イベント等を共催で実施している		交流イベントの実施をはじめとする、人的交流やプログラム等の共催などを行いパートナーシップを構築している		0.0 点				
		地域民間組織・団体との連携	○ 地元企業や商工会、NPO などが行う地域貢献に係る活動において連携することにより、クラブの活動の場や機会を拡充させ、存在意義が高められていること。 ○ これらの組織との連携を通して、総合型クラブは地域貢献に関するノウハウを提供するとともに、民間企業から事業運営に関するノウハウ等を学ぶ機会とするなど、各種の民間組織・団体とのパートナーシップが構築されていること。		地域民間組織・団体との連携	連携に向けた協議を行っている		地域イベント等で不定期に連携している		地域イベント等で定期的に連携している		人的交流及びプログラム等の相互乗り入れなどを行いパートナーシップを構築している		0.0 点		

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標

指針				評価指標					評価 (左記数 値を参考 に、0～4 を入力)	平均		
				数値	1		2	3			4	
				項目	基盤	発展	充実	持続可能				
					総合型クラブの創設・自立に向けて、活動基盤を整備している段階	一定の活動基盤を整備し、充実した活動を行うための体制整備に向けた発展段階	一定の充実した体制を整え、さらなる持続可能な体制整備を行っている段階	指針に示した内容を満たし、持続可能な体制を十分整備している段階				
組織体制の整備	③理念の共有	理念の共有	○「スポーツの推進」を第一義の目的とし、「地域づくり」を加えた内容が理念として明文化されていること。	理念の共有	クラブ理念の共有に向け、スタッフ対象の定期的なクラブ内研修等を行うとともに会員へ入会時等で説明している	会員に対し、クラブ理念を計画的に周知・共有するため、会員交流事業等を通じた普及・啓発活動を実施している	会員に対し、クラブ理念を共有するための研修会等を定期的に実施している	クラブ内スタッフや会員に加え、広く地域住民に対してクラブ理念を計画的に周知・共有するための活動を実施している	0.0 点	0.0 点		
			○全ての会員がクラブの理念を理解し、クラブの活動趣旨・目的が共有されていること。									
			○会員のみならず、クラブの理念が広く地域住民に理解されるよう計画的な活動が行われていること。									
	④自発的 (ボランティア) 組織特性	会員の自発的な参画	○会員がクラブを「支える」活動への参画を通して、会員同士の相互理解、相互協力が図られ、会員間の結びつきを深めることから、会員が「支える」活動に参画する体制が整えられていること。	会員 ※8 の 自発的な参画	会員の10%程度がクラブ運営を「支える」ための活動 ※ 9 に携わっている	会員の30%程度がクラブ運営を「支える」ための活動に携わっている	会員の50%程度がクラブ運営を「支える」ための活動に携わっている	会員のほとんどが、クラブ運営を「支える」ための活動に携わっている	0.0 点	0.0 点		
			効率的な体制	○特定の運営者及び会員に負担が偏らないよう、運営に必要な役割分担が体系的に整理され、円滑に機能していること。	効率的な体制	クラブ運営をめぐって、大半の業務をクラブマネージャー又は事務局員が行っている	規約に基づく各部会を設置しているものの、運営委員会を中心に運営している	各部会での合意形成を経た上で、運営委員会で最終的な意思決定をしている	規約に基づくクラブ運営が行われ、会員の意見が広く反映されている		0.0 点	
		継承性に関する 人材確保		○クラブの理念及び活動趣旨・目的を次世代に継承するため、中・長期的な計画を策定するとともに、定期的な内部研修が充実していること。		継承性に関する 人材確保	次世代のクラブ運営を担う人材の発掘や育成などの継承体制を計画している	次世代の人材発掘や募集を行い、クラブ内研修等による人材育成を行っている	次世代の人材が運営の一翼を担っている		次世代のリーダーとなる後継者が複数名育成され、運営の中核を担っている	0.0 点
				○次世代を担う人材を早期に発掘し、運営の中心的な役割に携わる体制が整えられていること。								
		⑤日常生活圏 ※10	日常生活圏の重視	○クラブが地域に密着し、広く開かれた組織として定着するため、日常生活圏との関係を重視した取組が行われていること。	日常生活圏の重視 (地域密着)	日常生活圏のニーズや課題を具体的に把握している	日常生活圏の課題の解決に向けたクラブの活動を不定期に実施している	日常生活圏の課題の解決に向けたクラブの活動を定期的に実施している	会員が、日常生活圏の課題の解決に向けたクラブの活動を実施している		0.0 点	0.0 点
○地域のニーズや課題を具体的に把握し、それらに応じた内容を中心に活動していること。												

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標

指針				評価指標				評価 (左記数 値を参考 に、0～4 を入力)	平均					
				数値	1		2			3		4		
				項目	基盤		発展			充実		持続可能		
					総合型クラブの創設・自立に向けて、活動基盤を整備している段階	一定の活動基盤を整備し、充実した活動を行うための体制整備に向けた発展段階	一定の充実した体制を整え、さらなる持続可能な体制整備を行っている段階	指針に示した内容を満たし、持続可能な体制を十分整備している段階						
成果の創出	⑥事業の多様性	多様の事業	○ 会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的なスポーツのサークル活動又はスポーツ教室事業が充実していること。	サークル・教室事業 (スポーツ種目)	会員のニーズ・特性に配慮した定期的な事業を2種目程度実施している	会員のニーズ・特性に配慮した定期的な事業を3～6種目実施している	会員のニーズ・特性が反映された定期的な事業を7～11種目実施している	会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的な事業を12種目以上実施している	0.0点	0.0点				
			○ 会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的な文化活動が充実していること。	文化活動の充実	実施に向けた行動を計画している	会員のニーズ・特性に配慮した定期的な事業を1種目実施している	会員のニーズ・特性が反映された定期的な事業を2～3種目実施している	会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的な事業を4種目以上実施している	0.0点					
			○ 会員同士の親睦や連帯感を深める交流事業が季節に合わせて実施されていること。	会員交流事業	実施に向けた行動を計画している	年1回程度実施している	年2～3回程度実施している	季節に合わせて、年4回以上実施している	0.0点					
			○ 会員のみならず、会員以外の地域住民を対象とした地域社会とクラブをつなぐ交流事業が地域行事に合わせて実施されていること	地域交流事業	実施に向けた行動を計画している	年1回程度実施している	年2～3回程度実施している	地域行事に合わせて、年4回以上実施している	0.0点					
		②多世代化 (対象の拡大)	○ 幼児を含む子供から若者、高齢者の世代までの各年齢層がクラブの活動に参加していること。	多世代化 (対象の拡大)	多世代化を意識した活動を計画している	既存会員の世代分布に合わせた事業展開をしている	新規会員の獲得も視野に入れて、世代の多様化を意識した事業を展開している	幼・小・中・高年代、成年世代、高年齢世代の各世代に対応して偏りなく事業展開をしている	0.0点					
			○ 障がい児・者を対象とした交流事業が実施されていること。											
		多志向化 (目的の拡大)	○ 障害の有無を問わず、楽しみ志向、健康志向、交流志向、競技志向等の各志向のニーズに応じて対応していること。	多志向化 (目的の拡大)	会員のニーズ・特性に配慮し、スポーツを楽しむ観点で多志向化に対応できる活動を計画している	楽しみ志向、健康志向、交流志向、競技志向など、二つの志向に対応した事業を展開している	楽しみ志向、健康志向、交流志向、競技志向など、三つの志向に対応した事業を展開している	楽しみ志向、健康志向、交流志向、競技志向など、多志向に対応した事業を偏りなく展開している	0.0点					
			○ 会員が、スポーツ本来の「自発的な運動の楽しみ」の理解、身体能力の総合性を養う等の複数種目に参加する意義を理解し、実践していること。	複数種目の実施者	会員の50％程度が複数のサークルや教室などに参加している	会員の10％程度が複数のサークルや教室などに参加している	会員の20％程度が複数のサークルや教室などに参加している	会員の30％程度が複数のサークルや教室などに参加している	0.0点					
	⑦クラブライフの定着	「マイクラブ」意識	○ 会員が、クラブの活動の意義や役割を理解し、クラブに対する愛着や親近感などの「マイクラブ」の意識を有していること。 ○ 会員以外の地域住民や諸機関・団体が、自分の地域のクラブに対する愛着や親近感などの「マイタウンクラブ」の意識を有していること。	「マイクラブ」意識	会員の過半数が、クラブの活動の必要性を認識している	会員の過半数が、当該クラブに対する愛着や親近感などの「マイクラブ」意識を持っている	ほぼ全ての会員が、当該クラブに対する愛着や親近感などの「マイクラブ」意識を持っている	地域に「マイタウンクラブ」意識が浸透し、当該クラブに対して、諸組織・団体から年に複数回、連携・協働の依頼が寄せられる	0.0点	0.0点				

※1:「CM(クラブマネジャーの略称)」は、公認マネジメント資格を有し、運営の管理・調整等において主導的な役割を果たす者。

※2:「雇用」に該当する場合は、労働基準法等の法令を遵守していること。

※3:「自己財源」:総収入の内、ここでは「会費(年・月単位)」「参加費」「寄付金」「協賛金」「委託料(指定管理含む)」の合計金額とする。「補助金」「助成金」は除く。

※4:「公認マネジメント資格」とは、クラブマネジメントに関する公認資格である。また、各段階の「アシスタントマネジャー」「クラブマネジャー」の知識・技能の程度は、(公財)日本スポーツ協会が公認する同資格の内容を標準とする。

※5:スポーツ指導者の公認資格の保有については、公認資格制度が整備されていない競技・種目を除いてカウントする。

※6:「活動拠点の確保」については、行政・学校等から理解を得る必要がある。また、「学校体育施設」「公共スポーツ施設」「上記以外の施設」は、いずれかの施設一つを確保する。全ての施設を確保する必要はない。

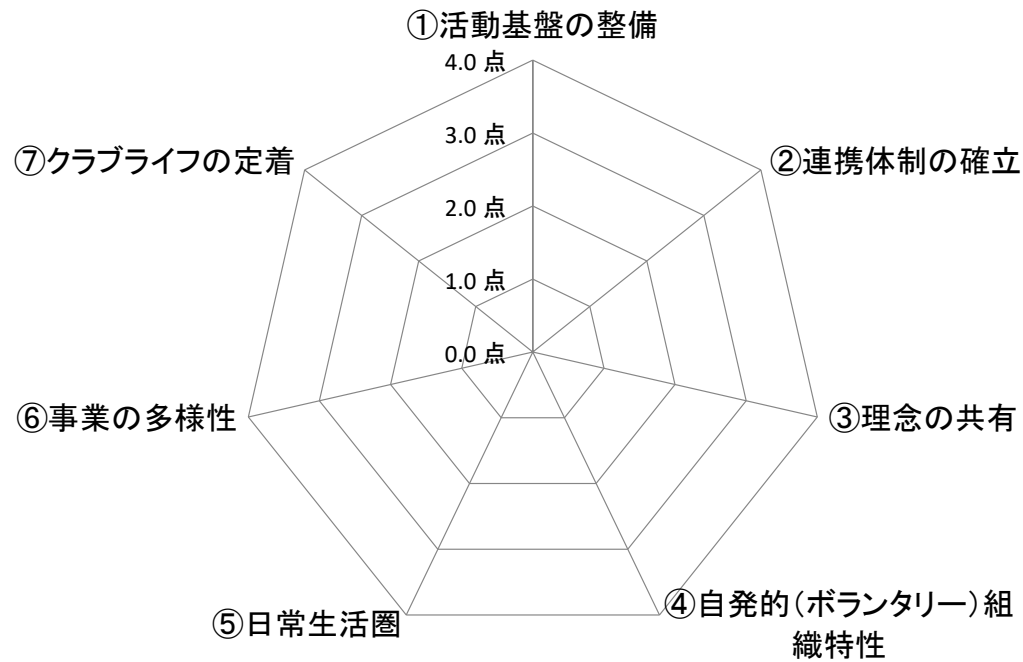
※7:「公的なスペース」とは、公共施設はもとより、誰でも自由にアクセスできる広く開かれている場所を指す。

※8:ここでは、クラブ事業への全参加者、賛助会員をいう。(地域交流事業のみに参加する地域住民、運営委員及び事務局等を除く)

※9:「支える」ための活動とは、各種の手伝いや協力をする、指導者になる、運営委員になる、寄付をする等をいう。

※10:日常生活圏とは、クラブが活動を行うに当たって基盤(ターゲット)となる地域をいう。その範囲は地域の実情によるものの、住民同士の顔が見える範囲(中学校区程度)が望ましい。ただし、地域の実情や要請に応じて活動範囲を広げることを、妨げるものではない。

総合型クラブの自己点検・評価の結果(7項目)



- 結果を踏まえて、自身のクラブの取組へ反映しましょう。
- 定期的に自己点検・評価を繰り返すことで、持続可能段階を目指しましょう。

自己点検・評価項目	平均
①活動基盤の整備	0.0 点
②連携体制の確立	0.0 点
③理念の共有	0.0 点
④自発的(ボランティア)組織特性	0.0 点
⑤日常生活圏	0.0 点
⑥事業の多様性	0.0 点
⑦クラブライフの定着	0.0 点